

スマート・プランニング導入案 (計量計画研究所)



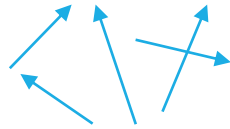
一般財団法人 計量計画研究所 (IBS)



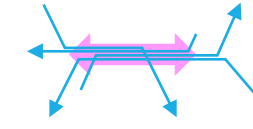
甲府市におけるスマート・プランニング導入案【提案】

中心市街地における課題（想定）

- ・事業等で新たな動線が数多く生み出す計画であるが、その結果、まちの賑わい(人の集まり)が分散してしまうことが懸念される



<歩行の分散>



<歩行の集約=太い動線>

- ・中心市街地に存在する空きビル、空き店舗活用の動きと、道路空間との一体的な活用が不十分(歩行中心の街路とその沿道のまちづくりの一体性)
- ・大通りの横断、創出された歩行空間(公開空地)における自転車駐輪など、**基盤整備**をしても歩行回遊を阻害する要因によって回遊性が十分に高まっていない
- ・バス停、駐車場の配置と歩行回遊との連携が不足
- ・多くの観光客の来訪が中心市街地の賑わい形成に結びついていない
- ・以上を踏まえ、中心市街地における多種多様な取り組みの前提となるべき、「歩いて楽しいまち」の空間のグランドデザインが必要



スマプラ的着眼点

- ①歩きやすい空間づくりから、賑わいをうみだす歩行回遊動線づくりへ
- ②主軸となる動線の沿道における空き店舗のリノベ促進
- ③歩行の実質的な阻害要因を考慮した回遊しやすい道路空間づくり
- ④中心市街地への来街ゲートウェイ(駐車場、バス停など)の効果的な配置
- ⑤観光客の回遊行動の特徴を捉え、観光客向けの動線づくり
- ⑥民と官とが共有する中心市街地における回遊のグランドデザイン(中心市街地づくりを官民が共鳴しあう取り組みへと昇華)

スマプラ的な問題の捉え方

回遊のターゲット (人)



買い物等の私用
による来街者



観光客

評価の視点

- ・賑わい(歩行者通行量等)
- ・楽しめる中心市街地(滞在時間等)

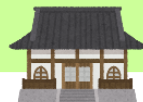
回遊する空間 (交通ネットワーク)

- ・歩行空間(歩道だけでなく、公園や公開空地等含む)
- ・大通り横断の阻害要因
- ・歩行空間の歩行阻害要因
- ・来街者のエントリーポイント



目的地 (施設)

- ・建物の用途や床面積
- ・歴史、観光資源
- ・空きビル、空き店舗



検討に必要なデータ

回遊行動データ

- ・歩行回遊の軌跡(アンケート調査、GPS等の観測など)

来訪者数データ

- ・都市圏居住者の来訪者数(パーソントリップ調査など)
- ・施設別観光入込客数(アクセス交通手段等がわかるとなお良い)

交通ネットワークデータ

- ・歩行者ネットワーク(以下の情報があると望ましい)
 - －道路幅員
 - －歩行空間(道路の歩道有無、歩道幅員、ガードレール等で自転車・自動車と分離されているか)
 - －横断阻害要因(信号有無、横断歩道有無、自転車道有無)
 - －歩行阻害要因(放置自転車の状況)
 - －その他(沿道緑化の状況、トイレなどの休憩施設の有無)
- ・ゲートウェイ情報(バス停、駐車場、駐輪場の位置と規模)

施設データ

- ・各建物の用途別店舗数、床面積(飲食、物販、業務、居住等)
- ・施設の分布(観光施設、公共施設等)
- ・空きビル、空き店舗の状況